

安全データシート

作成日：2025 年 9 月 4 日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 手指の消毒剤 高濃度アルコール
会社名 : 株式会社MonotaRO
所在地 : 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 : 商品お問合せ窓口
電話番号 : 0120-443-509
FAX番号 : 0120-289-888
緊急連絡先 : 所在地と同じ
推奨用途 : 手指・皮膚の洗浄・消毒
使用上の制限 : 推奨用途以外に使用しないこと
整理番号 : M250911

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分2B

生殖毒性 : 区分1A

特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分1（肝臓）、区分2（神経）

誤えん有害性 : 分類できない

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気またはめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓）の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（神経）の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

すべての安全に関する注意事項を理解するまで取り扱わないこと
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと（禁煙）
熱、高温のもの、火花、/裸火及び他の着火源から遠ざけること
防爆型の電気製品/換気装置/照明機器を使用すること
静電気放電及び火花による引火を防止すること
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合は医師の診断／手当を受けること。
気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

直射日光の当たらない涼しいところで保管すること。

【廃棄】

内容物、容器は地方／国の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名及び成分 : 有効成分 エタノール 76.9～81.4vol%
化学式 C_2H_5OH CAS No.64-17-5
グリセリン（食品添加物）、リン酸（食品添加物）、精製水

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静にする。
気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激があれば医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合 : 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合 : 水で口をすすぎ、気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、泡（耐アルコール泡）
使ってはならない消火剤 : 棒状注水
消火方法 : 初期の火災には、大量の水噴霧、又は粉末、炭酸ガス等の消火器による消火を行う。
大規模火災には、泡（耐アルコール泡）消火剤を用いて空気を遮断する。

6. 漏出の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

： 作業の際、適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

- ・少量の場合には、こぼれた場所へ速やかに大量の水で洗い流す。
- ・大量の場合には、漏出液を密閉式の空容器に出来るだけ回収し、回収出来なかった場所へは大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策：

- ・浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源となるものは速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 取扱いは換気のよい場所で行うこと。

熱、高温のもの、火花、/裸火及び他の着火源から遠ざけること。

防爆型の電気製品/換気装置/照明機器を使用すること。

静電気放電及び火花による引火を防止すること。

安全取扱注意事項

： 眼に入らないようにする。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。熱、火花、炎、ほかの着火源から離して保管すること。

保管

安全な保管条件

： 直射日光の当たらない涼しいところに保管する。

安全な容器包装材料： ポリエチレン、密閉できる容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：テータなし

許容濃度（エタノール 100%として）

許容濃度：ACGIH（2009） STEL 1000PPM

設備対策： 取扱いは換気のよい場所で行うこと。

保護具

呼吸器用の保護具： 必要に応じて保護マスクを使用する。

眼の保護具： 必要に応じて保護眼鏡を使用する。

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

外觀	: 液体
色	: 無色透明
臭い	: 特有な芳香
P H	: 3.0～5.0 (原液)
融点／凝固点	: -114.5℃ (エタノール100%として)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 78.32℃ (101.325kPa) (エタノール100%として)
可燃性	: データなし
引火点	: 13℃ (エタノール100%として)
自然発火点	: 439℃ (エタノール 100%として)
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	:
上限: 3.3vol% 下限: 19vol%	(エタノール 100%として)
蒸気圧	: 5.878kPa (20℃) (エタノール 100%として)
密度及び／又は相対密度	: 0.88g/cm ³ (25℃)
溶解度	: 水に可溶
n-オクタノール／水分配係数	: データ なし
相対ガス密度	: データ なし
粒子特性	: 該当しない

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。

危険有害な分解生成物: 硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。ある種のプラスチック、ゴム、被膜剤を侵す。

避けるべき条件 : 高温と直射日光

混雑危険物質 : 強酸化剤、次亜塩素酸カルシウム、アンモニア

11. 有害性 (エタノール 100%として)

急性毒性

経口ヒト : LD₀ 1,400mg/kg 行動、胃腸 (吐気)

経口ラット : LD₅₀ 7,060mg/kg 呼吸器系

吸入ラット : LC₅₀ 20,000ppm/10h 毒性未評価

経口ヒト (男) : TD₀ 700mg/kg 行動 (精神生理学上)

注射 ラット : LD₅₀ 1,440mg/kg 呼吸器系

注射 犬 : LD₀ 1,600mg/kg 運動失調、呼吸器系

腹腔 哺乳類 : LD₅₀ 4,300mg/kg 運動失調

変異原性

小核 マウス（腹腔）： 1,240 mg/kg ・ 48h

皮膚腐食性/刺激性

皮膚 ラビット 400mg 開放 症状（軽度）

皮膚 ラビット 500mg/24h 症状（重度）

眼に対する重篤な損傷/刺激性

OECD TG405 及び Draize test に従った試験により「 moderate 」と分類されている。ヒトで角膜上皮の障害、結膜充血は1、2日で回復する。

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

動物試験で有意の皮膚感作性は 見られない。

生殖細胞変異原性

ラット及びマウスにおける優勢致死 の報告及びマウス生殖細胞における異数性誘発報告がある。

発がん性

ACGIH（は、エタノールを 動物実験のデータに基づいて A3 に分類しているが、ヒトに対しては不明であるとの但し書きがある。

生殖毒性

アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形 その他の悪影響が多数報告されている。

吸入 ラット TCL₀ 20,000ppm/7h 、妊娠、 1～22 日 発育異常

経口 ラット TDL₀ 44g/kg 、妊娠、 7～17 日 発育異常

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）

ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合は死に至ることがある。ヒトで 5,000ppm（9.4mg/L）の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）

ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。

アルコール中毒患者の禁断症状（振戦症状、てんかん、精神錯乱）

誤えん有害性

情報なし

12. 環境影響情報

分解性

理論酸素要求量： 2.10mg/L

BOD 5 : 理論酸素要求量の 44~80%

COD : 理論酸素要求量の 90~100%

バクテリア硝化能の抑制

4,100mg/L でニトロソモナス種のアンモニア酸化の 50 %抑制

生態毒性

マスの幼魚	:	LC 50	11.2g/L	・ 24h
コイの一種	:	LC 50	18 13.4g/L	・ 96h
クリークチャブ	:	LC 50	7g/L	・ 24h
グッピー	:	LC 50	11g/L	・ 7 日

1 3. 廃棄上の注意

残余内容物

内容物や容器を大量に廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。中身を使い切ってから自治体の定める方法により廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器は、清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国連分類・国連番号 : 国連分類: クラス3 (引火性液体) 国連番号 1170 ethanol

輸送の特定の安全対策及び条件: 船舶安全法、航空法、その他法令の定めるところに従う。

容器の漏れがないことを確認して、転倒落下しないよう取扱う。

直射日光、高温、多湿を避けて取扱う。

1 5. 適用法令

薬機法 : 指定医薬部外品

消防法 : 第4類引火性液体、アルコール類

毒物劇物取締法 : 非該当

P R T R 法 (2023.4.1 改正) : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 エタノール

名称等を通知すべき危険物及び有害物 エタノール

危険物 引火性の物 (施行令別表第1)

船舶安全法 : 引火性液体類

航空法 : 引火性液体

1 6. その他の情報

引用文献

NITE : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

JIS Z 7253:2019

アルコールのSDS・その他原料のSDS等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7253 (2019) に準拠している。*JIS: 日本工業規格